

土質柱状図

報告用紙

調査名 仮称千葉市立鎌取第二小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成元年 9月 22日

調査地点 千葉市有吉町846番地の2地

標高 KBM-0.069 m

～ 元年 9月 25日

ボーリング孔: No. 1

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-2.90 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験					採取試料・原位置試験						
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 kg/cm	10 cm ことの 打撃回数			74μm通過質量百分率(%)		試料 番号	測定 番号	深さ m	方注1) 注2)	
0																			
1	-0.769	0.70	0.70		盛土暗褐色		粘性土主体の盛土	1.15	3/30	1	1	1						0.80	2本取り
2	-1.769	1.70	1.00		凝灰質粘土黄褐色		炭化物を混入する。 粘性強い。	1.45										1.80	2本取り
3	-2.969	2.90	1.20		凝灰質砂質粘土黄褐色		細砂をブロック状に挟在。 炭化物を混入する。	2.15	9/30	3	3	3						3.15	2本取り⇒試験
4	-3.969	3.90	1.00		凝灰質細砂黄乳灰		全体にシルトが混り粘性あり	2.45	19/30	3	3	4						3.45	320 横方向K値測定 380
5	-5.119	5.05	1.15		凝灰質シルト灰～褐色		炭化物を混入する。 粘性強い。	3.15	3/30	1	1	1						4.00	2本取り
6								3.45	39/30	11	14	13						4.90	
7								5.45											
8								6.15	50/12	41	9/2								
9								6.27											
10							GL-9.00m付近黄灰～乳黄 灰色のシルト質微細砂～汚泥 層を薄層にて挟在する。	7.15	50/19	22	29/9								
11							GL-11.00m以下赤褐色中砂 を帯状に挟在。	7.34											
12								8.15	50/17	26	24/7								
13								8.32											
14	-7.769	13.70	8.65		細砂暗褐色			9.15	32/30	10	9	13							
15								9.45											
16							シルト薄層を挟在する。 縮状～帯状	10.15	50/18	25	25/8								
17	-15.569	15.50	1.80		シルト混り細砂褐色			10.33											
18								11.15	50/13	34	16/3								
19								11.28											
20							全体に均一な細砂 非常に密実である。	12.15	50/18	27	23/8								
21								12.33											
22								13.15	50/11	44	6/1								
23								13.26											
24								14.15	40/30	10	14	16							
25								14.45											
26								15.15	50/29	12	17	21/9							
27								15.44											
28								16.15	50/15	27	23/5								
29								16.30											
30								17.15	50/13	31	19/3								
31								17.28											
32								18.15	50/21	18	26	6/1							
33								18.36											
34								19.15	50/18	28	22/8								
35								19.33											
36	-20.379	20.31	4.81		細砂暗褐色			20.15	50/16	33	17/6								

備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー D: デニソン型サンブラー 注2) 原位置試験方法の記号

調査名 仮称 千葉市立鎌取第二小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成元年 9月27日

調査地点 千葉市有吉町846番地の2地

標高 KBM-0.021 m

～ 元年 9月28日

ボーリング孔: No. 2

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-310 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験					採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 回/cm	10cmごとの 打撃回数			74μm通過質量百分率(%)		試料番号	測定番号	
0	-0.479	0.50	0.50		凝灰質粘土	暗茶褐色	粘性土主体										
1							粘性強	1.15	2/30	1/15	1/15						
2	-2.079	2.10	1.60		凝灰質粘土	黄乳灰	全体に炭化物 浮石を混入	1.45									
3	-2.779	2.80	0.70		凝灰質砂質粘土	赤褐色	細砂をブロック状に挟在 浮石混入	2.15	8/30	2	3	3					
4	-4.079	4.10	1.30		凝灰質細砂	黄乳灰	全体にシルト~浮石を混入	2.45									
5	-4.879	4.90	0.80		凝灰質シルト	黄乳灰	炭化物 浮石を混入する。	3.15	7/30	2	2	3					
6							GL-4.90~8.00m間シルト分 やや多く若干粘性あり。	3.45									
7								5.15	30/30	7	9	14					
8							GL-8.00~9.30m間乳灰色の浮石層挟在。	5.45									
9								6.15	43/30	11	13	19					
10								6.45									
11							GL-11.00m付近に褐灰の細砂塊状に挟在 浮石混入	7.15	50/24	15	22	13/4					
12								7.39									
13								8.15	35/30	9	13	13					
14							GL-14.50~14.65m, GL-15.60~15.70m, GL-17.80~17.90m間シルト層を薄く挟在する。	8.45									
15								9.15	50/29	12	17	21/8					
16								9.43									
17								10.15	50/14	33	17/4						
18								10.29									
19							GL-19.00m付近に5mm程度の円礫状シルトが若干点在する。	11.15	50/19	18	32/9						
20								11.34									
21								12.15	50/9								
22	-22.361	22.34	17.44		細砂			12.24									
23								13.15	50/18	21	29/8						
24								13.33									
25								14.15	50/12	38	12/2						
26								14.27									
27								15.15	36/30	12	13	11					
28								15.45									
29								16.15	42/30	11	13	18					
30								16.45									
31								17.15	50/25	12	21	17/5					
32								17.40									
33								18.15	50/22	14	25	11/2					
34								18.37									
35								19.15	50/23	14	22	14/5					
36								19.38									
37								20.15	50/22	17	24	9/2					
38								20.37									
39								21.15	50/21	19	27	4/1					
40								21.36									
41								22.15	50/19	21	29/4						

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー
- F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー

土質柱状図

報告用紙

調査名 仮称 千葉市立鎌取第二小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成 元年 9月 28日

調査地点 千葉市有吉町 846番地の2他

標高 KBM-0.080 m

～ 元年 9月 29日

ボーリング孔: No. 3

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-1.70 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験						採取試料・原位置試験				
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 回/cm	10 cm ごと の打撃回数			74μm 通過質量百分率 (%)			試料 番号	測定 番号	深さ m
								N 値			0 10 20 30 40 50 60							
0																		
1	-1.28	1.20	1.20	盛	土暗茶褐	褐	粘土質ローム主体のローム	1.15	9/30	2	3	4						
2	-2.48	2.40	1.20	旧表土	黒	褐	含水量低位 有機物点在	2.15	10/30	2	4	4						
3	-3.28	3.20	0.80	凝灰質粘土	黄	灰	細砂分を混入する。	3.15	12/30	2	4	6						
4	-4.68	4.60	1.40	凝灰質細砂	乳黄	灰	全体にシルト分が多く粘性あり	4.15	10/30	5	2	3						
5	-4.98	4.90	0.30	凝灰質シルト	黄	灰	炭化物点在する。	4.45										
6	-6.38	6.30	1.40		細砂	茶	灰	浮石を縞状に挟在	5.15	28/30	5	10	13					
7							GL-6.30~8.00m 間赤褐~黒褐灰色を呈する細砂を挟在	5.45										
8							GL-8.00~10.70m 間浮石を縞状に挟在する。	6.15	50/23	13	22	15/3						
9								6.38										
10	-10.78	10.70	4.40		細砂	暗褐	灰	GL-6.30~8.00m 間赤褐~黒褐灰色を呈する細砂を挟在	7.15	49/30	10	15	23					
11	-11.48	11.40	0.70		浮石	黄	灰	GL-8.00~10.70m 間浮石を縞状に挟在する。	7.45									
12							中2~3mm 前後浮石を少量に含む	8.15	35/30	9	12	14						
13							黄褐色の浮石層 薄層を縞状に挟在	8.45										
14							GL-13.90~14.30m 間小礫点在	9.15	50/18	24	24/8							
15							GL-15.00~16.30m 間茶灰色を呈しシルト分混入	9.33										
16							やや粘性あり	10.15	50/23	14	21	15/3						
17							GL-16.30m 以深暗褐灰で浮石~中砂を不規則に点在	10.38										
18								11.15	47/30	13	18	16						
19								11.45										
20								12.15	50/17	27	23/7							
21								12.32										
22								13.15	50/14	31	19/4							
23								13.29										
24	-24.46	24.38	12.98		細砂	暗褐	灰	GL-13.90~14.30m 間小礫点在	14.15	50/11	42	8/1						
5								14.26										
6								15.15	28/30	6	9	13						
7								15.45										
8								16.15	41/30	11	13	17						
9								16.45										
0								17.15	36/30	7	11	18						
1								17.45										
2								18.15	48/30	12	18	18						
3								18.45										
4								19.15	50/23	18	21	11/2						
5								19.38										
6								20.15	50/19	23	27/9							
7								20.34										
8								21.15	50/21	18	26	4/1						
9								21.36										
0								22.15	50/24	12	22	14/4						
1								22.39										
2								23.15	50/22	15	24	11/2						
3								23.37										
4								24.15	50/23	15	23	12/3						

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー
- F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー

土質柱状図

報告用紙

調査名 仮称千葉市立第二鎌取小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成元年 9月 20日

調査地点 千葉市有吉町846番地の2地

標高 KBM-2.095 m

～ 元年 9月 22日

ボーリング孔: No. 4

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-2.40 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験							採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 回/cm	10 cm ごと の打撃回数			74μm通過質量百分率(%) N 値				試料 番号	測定 番号	深さ m	方注1) 注2)
0	-2.495	0.40	0.40	盛	土	暗茶	灰	粘性土主体												
1									1.15	19/30	3	3	4							
2	-4.495	2.40	2.00	凝	灰質細砂	茶	褐	シルトを全体に混入 粘性ややあり浮石混入	1.45											
3	-4.895	2.80	0.40	凝	灰質粘土	乳	黄	灰化物混入, 粘性強	2.15	7/30	3	2	2							
4								GL-2.80~4.30m間シルト分 やや多い。	2.45											
5								GL-4.30m以深は暗茶褐色 となり, 部分的に酸化色を呈す。	3.15	27/30	6	7	9							
6						茶	灰		3.45											
7								GL-6.80m付近中砂薄層 挟在	4.15	50/26	14	20	16/6							
8								GL-7.90m付近はシルト分が 多い。	4.41											
9						暗	茶	褐	5.15	50/25	13	22	15/5							
10									5.40											
11									6.15	50/23	14	27	9/3							
12									6.38											
13								GL-12.00m付近中3~7mm程 度の円礫が点在する。	7.15	43/30	13	14	16							
14									7.45											
15									8.15	50/27	13	19	18/7							
16									8.42											
17									9.15	50/19	19	3/9								
18									9.34											
19									10.15	50/14	31	19/4								
20									10.29											
21									11.15	50/17	26	24/7								
22									11.32											
23									12.15	50/15	17	33/5								
24									12.30											
25									13.15	50/13	35	15/3								
26									13.28											
27									14.15	50/17	23	27/7								
28									14.32											
29									15.15	50/24	15	20	15/4							
30									15.39											
31									16.15	50/15	29	21/5								
32									16.30											
33									17.15	42/30	12	13	17							
34									17.45											
35									18.15	50/29	13	15	22/9							
36									18.44											
37									19.15	48/30	12	15	21							
38									19.45											
39									20.15	50/27	13	16	21/7							
40									20.42											
41									21.15	50/26	14	19	17/6							
42									21.41											
43									22.15	50/24	15	21	14/4							
44									22.39											
45									23.15	50/27	13	20	17/7							
46									23.42											
47									24.15	50/17	21	29/7								
48									24.32											
49									25.15	50/24	12	21	17/4							
50									25.39											
51									26.15	50/17	26	24/7								
52									26.32											
53									27.15	50/22	22	22	6/2							
54									27.37											
55									28.15	50/13	39	11/3								
56																				

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー

35							34.23													
							35.15	50/17	25	25/7										
							35.32													
36	36.261	36.22	31.62		細	砂暗褐灰	36.15	50/7												
7																				
8																				
9																				
0																				

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー



土質柱状図

報告用紙

調査名 仮称 千葉市立鎌取第二小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成元年 10月 3日

調査地点 千葉市有吉町846番地の2他

標高 KBM-0.005 m

~ 元年 10月 5日

ボーリング孔: No. 6

機種 KR-100

孔内水位(自然,泥) GL-3.70 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験						採取試料・原位置試験			
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 回/cm	10 cm ことの 打撃回数			74µm通過質量百分率(%) N 値			試料番号	測定番号
0																	
1						茶 褐		1.15									
2						乳黄灰		1.25	4/30	1	1	2					
3								2.15	5/30	1	2	2					
3	-3.305	3.30	3.30		盛土	暗茶褐	粘性土主体	3.15	5/30	1	2	2					
4	-3.905	3.90	0.60		旧表土	黒褐灰	含水量低位有機物混入	3.45									
4	-4.305	4.30	0.40		粘土質ローム	暗褐灰	若干浮石が点在	4.15									
4	-4.605	4.60	0.30		凝灰質粘土	乳黄灰	炭化物・浮石が点在	4.45	6/30	2	2	2					
5								5.15									
5								5.45	12/30	4	4	4					
6								6.15									
6								6.45	10/30	3	3	4					
7						暗茶褐		7.15									
7								7.45									
8							全体にシルト分が多く粘性がやや有り。	8.15	14/30	4	5	5					
9								8.45									
9							浮石を所々に縞状に薄く挟む。	9.15	15/30	4	5	6					
10						黄褐灰		9.45									
10								10.15	8/30	3	2	3					
11	-10.605	10.60	6.00		細砂			10.45									
11	-11.305	11.30	0.70		シルト混り浮石	黄灰	粘性やや強く含水量高位	11.15	28/30	9	9	10					
12								11.45									
12								12.15	31/30	7	11	13					
13								12.45									
13								13.15	16/30	5	5	6					
14							GL-12.00~18.00m 付近 浮石混り中砂を薄く縞状に 又シルト層も帯状に挟在する。	13.45									
14								14.15	42/30	15	17	16					
15								14.45									
15								15.15	32/30	12	9	4					
16							GL-16.00~17.00m 付近 粘性有り。	15.45									
16								16.15	47/30	14	16	17					
17								16.45									
17								17.15	27/30	8	9	10					
18								17.45									
18								18.15	33/30	11	12	10					
19							GL-19.60~19.70m 間に シルト層を挟在。	18.45									
19								19.15	31/30	9	10	12					
20								19.45									
20								20.15	40/30	12	13	15					
21								20.45									
21								21.15	33/30	9	11	13					
22								21.45									
22								22.15	33/30	8	11	14					
23								22.45									
23								23.15	35/30	9	11	15					
24								23.45									
24								24.15	35/30	10	12	13					
25							GL-24.70~25.10m 間 固結砂質シルト層を挟む。	24.45									
25								25.15	50/24	13	21	16/4					
26								25.39									
26							GL-26.60~26.90m 間に 貝殻混り中砂を挟在。	26.15	50/28	12	20	18/8					
27								26.45									
27								27.15	50/28	15	19	16/8					
28							GL-28.00mより浮石混り中砂 を縞状に挟在。	27.43									
28	-28.405	28.40	17.10		細砂	暗褐灰		28.15	50/21	14	27	9/1					
29								28.36									
29								29.15	50/16	26	24/6						
30								29.31									
30								30.15	50/19	23	27/9						
31							浮石を縞状に挟在。	30.34									
31	-31.505	31.50	3.10		中砂	暗褐灰		31.15	50/22	17	26	7/2					
32								31.37									
32							若干中砂を点在するが全体に均一で非常に密である。	32.15	50/11	42	8/1						
33								32.26									
33	-33.405	33.40	1.90		細砂	褐灰		33.15	50/14	29	21/4						
34								33.29									
34								34.15	50/13	34	16/3						

2.30
3.00

4.00
横方向K値測定
4.60

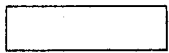
35							34.28	50/13	36	14/3				
							35.15							
							35.28							
36	-36.325	36.32	2.92	0	0	貝殻混り細砂暗褐色灰	36.15	50/17	22	28/7				
37														
8														
9														
0														

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー



土質柱状図

報告用紙

調査名 仮称 千葉市立第二鎌取小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成元年 9月 19日

調査地点 千葉市有吉町846番地の2地

標高 KBM-0.024 m

~ 元年 9月 22日

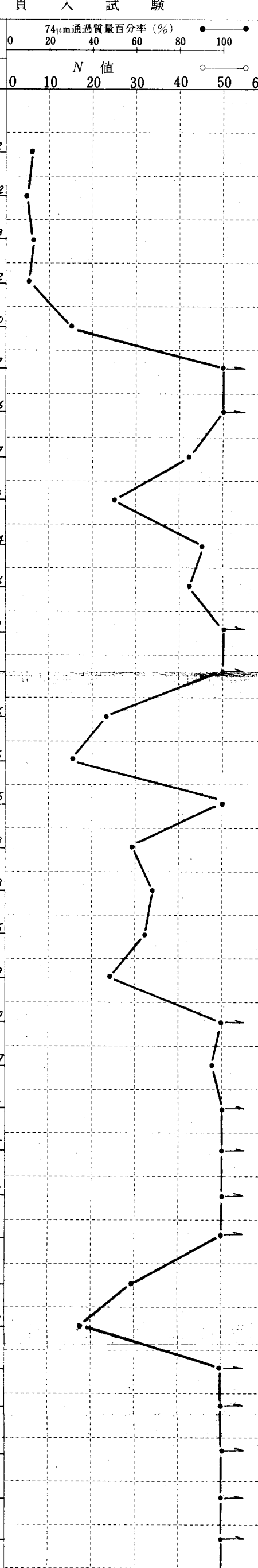
ボーリング孔: No. 7

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-4.90 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験										採取試料・原位置試験			
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 回/cm	10 cm ごとの 打撃回数			74μm通過質量百分率(%)					試料 番号	測定 番号	深さ m	方注1) 注2) 法
0																					
1							埋土 草根 木片混入	1.15													
2	-2.224	2.20	2.20		ロ-ム 黒ボク	黒	茶 褐 灰	1.45	6/30	2	2	2									
3	-2.924	2.90	0.70		凝灰質粘土	茶 褐 灰	若干浮石混入 粘性や	2.15	5/30	1	2	2									
4	-4.724	4.70	1.80		凝灰質 シルト混り 細砂	黄 茶 褐	浮石 雲母片混入 酸化部分点在 部分的に粘 土を挟在	2.45	6/30	1	2	3									
5	-5.324	5.30	0.60		シルト	暗 褐 灰	木片の腐植物(炭化物)混入 又浮石混入	3.15	5/30	1	2	2									
6								4.45	15/30	1	4	10									
7								5.45	50/27	15	19	16/7									
8							暗 茶 灰 黄 褐 灰	6.15	50/26	16	20	14/6									
9							粒径均一 含水低位 部分的に茶褐色酸化部挟在	6.42	42/30	10	15	17									
10								7.15	25/30	8	7	10									
11								7.41	45/30	13	18	14									
12							黄 褐 灰 茶 褐 灰 褐 灰	8.15	42/30	11	15	16									
13							粒径不均一 全体に浮石混入 薄層状部 分あり	8.45	50/29	13	16	21/9									
14								9.15	50/24	15	25	10/4									
15	-15.024	15.00	9.70		細 ~ 中砂	褐 灰	雲母片若干混入 GL-14.00m付近より含水多 なり 締り具合低下	9.45	23/30	9	8	6									
16	-15.624	15.60	0.60		砂混りシルト	黄 茶 褐	細砂薄層状 レズ状に挟在	10.15	15/30	4	5	6									
17								10.45	50/30	9	16	25									
18								11.15	29/30	8	8	13									
19							部分的に含水の多い部分か あり 締り具合低下	11.45	34/30	10	11	13									
20							全体としては 含水低下 雲母片若干混入	12.15	32/30	7	10	15									
21								12.44	24/30	7	8	9									
22							黄 褐 灰 褐 灰	12.44	50/29	14	16	20									
23								13.15	48/30	15	16	17									
24								13.39	50/28	14	18	18/2									
25								14.15	50/25	16	20	14/5									
26							GL-25.00m付近よりシルトを ズ状に挟在	14.45	50/27	10	19	21/7									
27								15.15	50/23	13	26	11/3									
28								15.30	29/30	11	10	8									
29							含水やや高位 浮石 雲母片を混入 粒子不均一 締り具合低下している	16.15	17/30	3	7	7									
30								16.45	50/28	6	16	28/9									
31								17.15	29/30	11	10	8									
32								17.44	50/11	42	8/1										
33	-32.724	32.70	17.10		細 砂	褐 灰	粒子均一で 非常に密である 含水中位 雲母 浮石若干混入	18.15	50/13	34	14/3										
34								18.45	50/17	26	24/7										



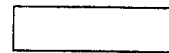
35			θ			貝殻片を多量に混入する所別	34.28	1/5	31	1/5		
			θ				35.15	50/15	29	21/5		
36	36.344	36.32	3.62	θ	細	砂暗褐色	35.30					
			θ				36.15	50/17	26	24/7		
37												
8												
9												
0												

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー



土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 仮称 千葉市立鎌取第二小学校新築地質調査業務委託

調査年月日 平成元年 9月 21日

調 査 地 点 千葉市有吉町 846 番地の2他

標 高 KBM-0.055 m

～ 元年 9月 25日

ボーリング孔: No. 8

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-3.65 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験						採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃 回数 貫入量 H/cm	10 cm ごと の打撃回数			74μm通過質量百分率(%)			試料 番号	測定 番号	深さ m
							N 値			0 10 20 30 40 50 60								
0																		
1	-0.755	0.70	0.70	盛 土	暗黄褐	粘 性 土 盛 土。												
2	-1.655	1.60	0.90	凝灰質粘土	淡黄褐	粘性強い。 GL-1.00m付近より黄褐色に 変化する。	1.15	4/30	1	1	2							
							1.45											
3							2.15	12/30	3	4	5							
							2.45											
4	-3.655	3.60	2.00	細 砂	黄 褐	粒子不均一。 含水量低位。 若干粘土分を挟在する。	3.15	19/30	6	7	6							
							3.45											
5	-4.855	4.80	1.20	シルト	暗 灰	炭化物を多く混入する。 GL-4.00m付近砂を挟在。 GL-4.80~4.40m間炭化物挟在	4.15	3/30	1	1	1							
							4.45											
6							5.15	43/30	10	13	20							
							5.45											
7							6.15	50/25	17	20	13/5							
							6.40											
8							7.15	47/30	10	12	15							
							7.45											
9							8.15	50/16	22	28/6								
							8.31											
10							9.15	40/30	13	13	14							
							9.45											
11							10.15	44/30	17	14	13							
							10.45											
12							11.15	50/18	20	30/8								
							11.33											
13							12.15	50/12	33	17/2								
							12.27											
14							13.15	50/20	22	28								
							13.35											
15							14.15	50/5										
							14.20											
16							15.15	50/16	20	31/6								
							15.31											
17							16.15	50/28	15	16	19/8							
							16.43											
18							17.15	29/30	8	8	13							
							17.45											
19							18.15	50/14	30	20/4								
							18.29											
20							19.15	50/22	18	24	8/2							
							19.37											
21							20.15	50/22	19	26	5/2							
							20.37											
22							21.15	50/27	15	18	17/7							
							21.42											
23							22.15	50/22	20	20	10/2							
							22.37											
24							23.15	50/25	10	25	15/5							
							23.40											
25	-23.605	23.35	20.55	細 砂			24.15	50/23	14	25	11/3							
							24.38											
26							25.15	50/20	14	36								

備 考 注 1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー D: デニソン型サンプラー 注 2) 原位置試験方法の記号